

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	職員厚生事業			
担当課係名	総務課	課	職員係	作成者 渡辺久信
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		
	基本計画	健康づくりの推進と病気予防体制の充実		
	主要施策	健康づくりの推進		
予算費目	一般	会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費 1 目 一般管理費
事業期間	平成	年度	～ 平成	年度 新規 / 継続の区分
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☒ 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運営方法	☒ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	仙北市職員及び非常勤職員
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	職員の健康管理
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	仙北市職員及び非常勤職員の健康診断の実施

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	健康診断受診者数	人	510	523
	成果指標	検診受診率（検診受診者数/対象職員数）	%	99.8	99.2
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			3,892	3,250
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源		3,892	3,250
	人件費 (B)		—	7,853	8,071
		職員数	—	1.00	1.00
		職員平均人件費	—	7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト		—	11,745	11,321
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	23,029	21,646
	市民1人当たりのコスト(円)		—	368	361

【事務事業の今までの成果】

職員の健康管理

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	職員の健康管理は、すべての職場に義務付けられている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	職員の健康の維持

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	人間ドック等受診者を除くほとんどの職員の健康診断を受け持っている。またその結果を自己の健康管理の目安としている。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	職員福利厚生事業として、職員の健康診断については、引き続き必要と考えます。

一次評価診断図

